

2部

フィールド フィールド
現場から現場へ

焦らず、決して諦めない

OB MESSAGE

通信教育学部福祉心理学科卒業生 **滝本 郁美**

新型コロナウイルスの影響を受けている皆様に心よりお見舞い申し上げます。私は、2017年4月に3年次編入で入学し、今年3月に卒業しました。寄稿の依頼を受け大変光栄に思っております。この苦境の中、学習面においても先の見通しが立たないなど不安な日々を送られている方も多いこととされますので、拙文が少しでも何か皆様のお役に立てれば幸いです。

はじめに

子どもの頃から対人援助職を目指していましたが、紆余曲折を経て今に至ります。入学を決めたきっかけは、子育てをする中で自分の人生を振り返り、自分自身の人生も大切にしたいと考えたことでした。学び直しをすることで新たな人生のスタートを切りたいという気持ちが高まり、かねてから関心があった心理学科に入学しました。新しくできた国家資格の公認心理師も視野に入れ、対人援助職への転職を目指した選択でした。東北福祉大学は、子どもを実家に預けスクーリングに通える距離にあるという現実的な条件も備えていました。

3年間の学びを通して得たもの

私は遠方に住んでいたため、オンデマンドスクーリングを中心に学習をしていました。オンデマンドスクーリングの利点は、やはり時間を自由にアレンジできる点にあると思います。何日も経つと記憶が薄れてしまうの

で、終了予定日を決め、何とかまとまった時間の確保に努めました。しかし、スクーリング後すぐにレポートに取り組むことは、なかなかうまくいきませんでした。やはり一番大変だったのは、学業と仕事と家事・育児の両立です。時間との戦いの連続でした。自分は何をやっているのだろう……とふと考えてしまうこともありました。レポートが溜まりに溜まり、投げ出したくなったり、やり始めるまでになかなかエンジンがかからない日々、何もしたくない日々もありました。

それでも、卒業という目標は絶対に叶えたかったので、レポートを書きやすい環境を見つけ、自分に合ったレポートの書き方を確立することで乗り越えていくことができました。決めたことを最後まで諦めずにやり抜くことで生まれる自信や、自分自身を労わることの大切さにも気づきました。また、心理学の学びを通して得られたことは、子どもの成長を発達段階でとらえ、見通しが立てられるようになったことです。また、物事を俯瞰し、多角的にとらえることで、新たな視点を取り入れ、つらい局面を乗り越える力や相手の立場を考える力が高まったと感じています。

卒業研究を通して

当初は大学院へ進学するという目標のための選択でしたが、インタビュー調査や分析を通して、自分自身の成長や周囲への感謝へと繋がったと思います。私の卒業研究は、通信制大学に通う子育て中の女性の成長的変容のプロセスを明らかにするものでした。私自身と同様に、他の方も学び直しで何か成長を感じることがあるのではないかと考えたことが研究のきっかけとなりました。はじめての研究は、見通しが得られず、手探りで始まりました。インタビュー調査に対する分析やまとめには、多くの苦悩がありましたが、卒論指導の中村恵子先生のご指導や励ましにより、納得のいく結果に仕上がったと思います。

卒業研究を通し、子育て中の大学入学では、その両立に困難も葛藤も抱える一方、それを上回る学ぶ喜びや人間的成長があることがわかりました。また、論文を読むことも当初は大変でしたが、論文を読んで理解できることが増えていくのは、学ぶ喜びそのものでした。

卒業後の進路

卒業後は、自分のフィールドを広げることが目標に就活をし、現在は重症心身障害児の放課後デイサービスで働いています。それには、子どもの療育に関わりたいという思いがあり、卒業によって児童指導員任用資格を取得できたことが背景にあります。また、大学で公認心理師受験に必要な単位が得られたので、やがて受験資格と結びつけられる実践現場にステップアップしようという新しい目標もできました。

当初は軽度発達障害を対象にした療育の現場を考えていましたが、ご縁に恵まれ、重症心身障害児の療育を学んでいます。重症心身障害とは、重度の身体障害と知的障害の両方をもつ最重度の重複障害です。最初は知識が全くなく不安でしたが、毎日が学びの連続です。さらに知識を蓄え、今後に活かせるよう頑張っています。おかげさまで関心の幅が広がり、もっと福祉分野のスクーリングをとっておけばよかったと後悔しています。

入学するのに悩み抜いた方も多く、皆様にとって自分の意思で決めた大切な大学生活なのではないでしょうか。その強い意思を今後により活かすためにも、在学中に取得できる資格は、全て取れるように履修登録をすることをおすすめします。少しでも興味があることには、もっと欲張りになることも、今後の自分づくりにとても重要なことだと思います。

最後に、在学生の皆様のご健闘を心からお祈りいたします。困難な状況が続いておりますが、置かれた場所で各々が輝ける咲き方が出来ることを願っています。